

平成31年度 大分市立舞鶴小学校 学力向上プラン（I）

1 学力の状況

【本校児童の実態から】	【大分県学力定着状況調査結果から】
<ul style="list-style-type: none"> <li>朝のスキルタイムに落ち着いて取り組んでいる。記録表活用の効果もあり、達成感が高まっている。</li> <li>学力の個人差が大きく、算数や国語の評価テスト及び学力調査等で目標値に達していない、もしくは平均値を大きく下回る児童の層があり、底上げが大きな課題である。</li> <li>家庭学習に取り組めない、または毎日の提出ができていない児童がいる。家庭学習の習慣づけや意欲づけが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科の正答率はそれぞれ目標値を上回ることはできたが、県平均比では3教科ともほぼ同等もしくは下回った（国語▲0.9 算数▲1.3、理科▲2.7）。</li> <li>国語の「漢字を書く」問題では4年時から伸びが見られたが、「作文」では県平均を大きく下回った。記述問題に課題が見られる。</li> <li>基礎的な計算問題は正答率が高いが、文章問題に弱さが見られる。</li> </ul>

2 学力に関する達成指標と重点的な取組

【達成指標】国語・算数評価テストの学級平均点 80 点以上

各学年とも平均 80 点以上は達成できている（全校平均：国語 85.1 点、算数 84.8 点）

- 児童アンケート「朝のスキルタイムに取り組んで、漢字や計算の力がついた」

1 学期の達成状況・・・肯定的な回答 90.1%（◎49.3%、○40.8%）

- 児童アンケート「1 時間の授業の中で、今日は何を勉強したのか、何ができるようになったのかがよくわかった」

1 学期の達成状況・・・肯定的な回答 91%（◎54.5%、○36.5%）

3 今後の具体的な取組

(1) 学校の取組

○校内研修を中心とした組織的な授業改善の推進、教師の授業力の向上

- 多様な価値観と接し、多面的・多角的に考えることができるような発問の工夫及び場の設定について研究を進める。
- 互見授業の実施～授業改善の取組状況をお互いに確認しあうとともに、若手教員がベテラン教員の授業に学び、授業力を向上させる好機とする。
- 1 日 1 回は授業で学んだことをふりかえり、自分の言葉で記述する活動を仕組むことにより、学習内容の定着を図るとともに、「書く力」の向上を目指す。

○基礎・基本の定着

- 週 2 回の「スキルタイム」の充実を図り、学習意欲の向上及び学力の定着を図る。
- 非常勤講師を活用した習熟度別少人数指導により、下位層の児童の基礎基本の定着を図る。

○小中一貫教育による系統的な学習指導の推進

- 年 2 回（8 月、1 月）の合同研修会で地域の児童生徒の課題を明らかにし、解決策を講じて地域全体で学力の底上げに取り組む。
- 城東中校区合同授業研究会を開催し、授業力の向上を図る。

(2) 家庭・地域との協働

○家庭との連携

- 「家庭学習の手引き」を活用して家庭学習習慣の確立を図り、学習内容の一層の定着を図る。
- 記述や読解といった弱点克服を家庭学習に取り入れ、家庭との連携で学力向上に取り組む。

○津留公民館等との連携

- 夏季休業中の「寺子屋」、「体験教室」の実施